

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●森田直行調教師がJRA通算100勝を達成

1月31日(日)の1回小倉6日・第4レースではコーンズが1着となり、同馬を管理する森田直行調教師(栗東)は、現役157人目となるJRA通算100勝(延べ1942頭目)を達成しました。

●クロフネ産駒のJRA通算勝利数が単独第7位となる

1月30日(土)の1回東京1日・第7レースではロークアルルージュが1着となり、クロフネ産駒のJRA通算勝利数が1436勝となりました。これはサクラバクシンオーの1435勝を上回り、産駒のJRA通算勝利数で単独第7位となる記録です。

●フィエールマンらの競走馬登録抹消

2018年菊花賞(GⅠ)勝ち馬で2019年・2020年に天皇賞(春)(GⅠ)を連覇したフィエールマン(牡6歳/美浦・手塚貴久厩舎/JRA通算11戦5勝・海外1戦0勝)のほか、2020年日経賞(GⅡ)などの勝ち馬ミッキースワロー(牡7歳/美浦・菊沢隆徳厩舎/JRA通算22戦5勝)、2017年函館記念(GⅢ)などの勝ち馬ルミナスウォリアー(牡10歳/美浦・萱野浩二厩舎/JRA通算35戦6勝)、2019年サマーチャンピオン(佐賀・JpnⅢ)の勝ち馬グランドボヌール(牡7歳/栗東・鈴木孝志厩舎/JRA通算28戦5勝・地方2戦1勝)は、1月14日(木)までに競走馬登録を抹消されました。フィエールマンは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーション、ミッキースワローは北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となり、ルミナスウォリアーとグランドボヌールは地方競馬に移籍する予定です。

●2020年度ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から『2020年度ロンジンワールドベストレースホースランキング』が発表され(2020年に出走した馬が対象/国際ハンデキャッパー会議において決定/単位はポンド)、インターナショナルSなどGⅠを3勝したガイヤース(130)がワールドチャンピオンに輝きました。日本調教馬はアーモンドアイとコントレイルが第10位タイ(124)となったほか、計36頭が掲載され、これはアメリカ(52頭)、オーストラリア(40頭)に次ぎ、イギリスと並ぶ国別第3位タイとなっています。

●JPNサラブレッドランキング発表

JRAハンデキャッパーおよびNARレーティング担当者の協議により決定した『2020年度JPNサラブレッドランキング』が発表されました(単位はポンド)。各部門・牡牝のトップは、2歳がダノンザキッド(116)とソダシ(112)、3歳・芝がコントレイル(124)とデアリングタクト(119)、3歳・ダートがカフェファラオおよびダノンファラオ(112)とレーヌブランシュ(104)、4歳以上・芝がグローリーヴェイズおよびフィエールマン(123)とアーモンドアイ(124)、4歳以上・ダートがクリソベリル(119)とファッシュニスタ(107)となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●根岸S(東京)に挑んだ大井のサブノジュニアは9着

根岸S(GⅢ、1月31日、東京)に挑戦した昨年のNARグランプリ年度代表馬サブノジュニア(大井)は、中国のまま9着に敗れました。また、クロッカスS(L、1月30日、東京)にはマテラフレイバー(大井)が出走しましたが、10頭立ての9着に終わっています。

●兵庫クイーンS(姫路)は愛知のニジイロ【各地の主要3歳重賞】

兵庫クイーンセレクション(1月14日、姫路、1400m、牝馬)は、中国から差を詰めた4番人気の愛知からの遠征馬ニジイロ(父トビーズコーナー)が直線半ばで抜け出し、重賞初制覇を果たしました。

●ロードゴラッソ、クリンチャーらが参戦、2月11日の佐賀記念

佐賀記念(JpnⅢ、2月11日、佐賀、2000m)は、昨年の2着馬ロードゴラッソが最有力、以下58%のクリンチャー、アシャカトブ、ウインユニファイド、メイブルブラザー(兵庫)、ハナズレジェンドまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2020年の米年度代表馬はオーセンティック

今年で50回目を迎えたエクリプス賞の受賞人馬が1月28日にインターネット上で開催するバーチャルセレモニーの形式で発表され、2020年の米年度代表馬にオーセンティック(牡3歳=年齢は2020年時点、父イントゥミスチーフ、B.バファート厩舎)が輝きました。オーセンティックは2020年にケンタッキーダービー、ブリーダーズクラシック、ハスケルSと3つのGⅠに優勝(7戦5勝)。同時に米最優秀3歳牡馬のタイトルも手にしました。同馬はブリーダーズリフトファームで種牡馬入りしています。なお、GⅠブリーダーズCディスタフとGⅠラトロワヌSを含む4戦4勝で、年度代表部門で次点となったモノモイガール(牝5歳、父タビザー、B.コックス厩舎)は米最優秀ダート古牝馬、オーセンティックをGⅠブリークネスSで2着に下した牝馬スイススカイダイバー(牝3歳、父デアデビル、K.マクピーク厩舎)は米最優秀3歳牝馬にそれぞれ輝きました。